

作成者 亀井成美

2008. 10. 11

皆様、はじめまして。9月より、福井県の奨学生としてフィンドレー大学で学ぶことになりました、亀井成美と申します。このような素晴らしい環境で勉強する機会を与えてくださり、本当に感謝しています。1年間、このレポートを通して、オハイオでの生活やフィンドレー大学で学んだことをお伝えしたいと思います。

1 フィンドレー、フィンドレー大学について

フィンドレーには、8月18日の18時頃到着しました。デトロイトの空港から小型機に乗り換え、15分ほどでトレド空港に着きます。そこからフィンドレーまでは車で約1時間かかります。フィンドレーは、オハイオ州の北西部に位置する小さな街で、福井に似た印象を持ちました。石油やガスの産出地として有名で、街や大学のいたるところに油田をモチーフにした看板や噴水などが見られます。到着後1日目は **International house** という、宿泊施設に泊まりました。寮やアパートが見つかるまで、留学生が一時滞在できる施設です。また2日後にオリエンテーションがあり、大学の説明を受けました。フィンドレー大学は1889年に初めて卒業生を送り出し、1989年に総合大学として認められました。大学には大きく分けて、経済、教育、科学、教養、医療の5つの学部があります。キャンパス内には、アイススケート場、コンサートホール、カフェ、植物園、図書館、ゲームルーム、ジム、パソコン室などがあります。スケート場やグラウンドでは、ホッケーやフットボールなどの練習が盛んに行われています。右の写真は **Old main** という、大学で1番大きな建物です。



2 学習内容について

大学では、**I.E.L.P** (集中英語コース) の授業を受けています。**I.E.L.P** は、留学生が学部や大学院に入る前に、英語の勉強をするコースです。オリエンテーションの時にクラス分けのテストがあり、レベル1～5に振り分けられます。私は、レベル4のクラスに入りました。クラスメイトは10人おり、私の他に日本人が1人、インド人が3人、サウジアラビア人3人、台湾人、韓国人が1人ずついます。**I.E.L.P** 全体で見ても、生徒数はインド人が3割、サウジアラビア人が2割、中国人・台湾人が2割を占めています。授業は主に **Reading, Listening, Composition, Communication** の4つがあり、総合的な英語力を高めると共に、レポートの書き方やスピーチの仕方を詳しく学びます。時間帯は9時～16時までで、1コマ50分授業です。宿題はあまり多くありませんが、私は **speaking** が苦手なので、思ったことをうまく伝えられず困る時もあります。特にクラスメイトと話す時は、お互いの国のアクセントが残った英語を話すので、理解に苦しむこともあります。

3 今月の行事



大学では、毎月様々な行事が行われています。今回はオープニングセレモニーの様子をお伝えしたいと思います。入学式は日本のように厳粛な雰囲気はなく、生徒は普段着で出席していました。学長の話を伺った後、新入生全員が外に移動し、教授に見送られながらアーチをくぐりました。教授は、よく映画で見るような黒いガウンと四角い帽子を身につけて出席されていました。また、セレモニーの数日後に学長が新入生全員をお家に招いて下さり、ちょっとしたお菓子や飲み物を頂きました。日本の大学では、学長と面と向かって挨拶をする機会はなかったので、アメリカ式の歓迎に大変驚きました。

大学では、毎月様々な行事が行われています。今回はオープニングセレモニーの様子をお伝えしたいと思います。入学式は日本のように厳粛な雰囲気はなく、生徒は普段着で出席していました。学長の話を伺った後、新入生全員が外に移動し、教授に見送られながらアーチをくぐりました。教授は、よく映画で見るような黒いガウンと四角い帽子を身につけて出席されていました。また、セレモニーの数日後に学長が新入生全員をお家に招いて下さり、ちょっとしたお菓子や飲み物を頂きました。日本の大学では、学長と面と向かって挨拶をする機会はなかったので、アメリカ式の歓迎に大変驚きました。

作成者 亀井成美

2008. 11. 11

10月に入り、フィンドレーの街は急に寒くなりました。夜に外出する時はジャケットを羽織らないといけないくらいです。秋が短く冬の到来が早く感じるので、雪国福井県で育った私でさえも、これから迎える冬を前にして大丈夫かなと、心配しています。今回のレポートでは、フィンドレー大学語学コース（Intensive English Language Program）の授業内容、今月参加したイベント、余暇活動について紹介したいと思います。

1 I.E.L.P 学習内容について

秋学期が始まってから2ヵ月が経ちました。英語の授業にも慣れ、クラスメイトとも仲良くなりました。今回は、科目ごとに授業の内容を紹介したいと思います。Reading は Composition と同じく週に5時間あり、最も長いクラスです。先生はテキストを読み進めると共に様々な記事を用意してくれます。特に11月4日に大統領選があったため、10月は選挙に関する記事を読む機会が多かったです。このクラスでは Reading の能力を高めるだけでなく、アメリカ文化についても多く学べるので、とても勉強になります。Composition では、エッセイの書き方を学んでいます。英語と日本語では文章の構成が違うので、どのようにして英語の文章を組み立てるか詳しく学ぶことができます。Communication では、スピーチの仕方を学びます。パワーポイントを使い、情報提供のスピーチや即興スピーチなどをしました。この授業で福井県に関するスピーチをしたところ、クラスメイトは平均寿命が長いという点に興味を持って聞いてくれていました。Listening では、主に教科書のCDを聞いて活動しています。パソコン室でニュースを聞くこともあります。この他に American Culture Conversation と TOEFL の授業があります。この2つの授業については、来月紹介したいと思います。

2 今月の行事 ～大統領選挙、ハロウィンについて～



10月は、大統領選挙で街全体が盛り上がっていました。多くの家の前には、オバマ氏とマケイン氏のどちらを支援しているかの表示が出され、日本では見ることのできない風景が見られました。またオハイオ州は選挙人枠が20人と多いため、積極的な選挙活動が行われていました。左の写真は10月22日に共和党副大統領候補でアラスカ州知事のサラ・ペイリン氏がフィンドレー大学の体育館で講演会を開いた時の模様です。平日の朝にも関わらず、6000人にも及ぶ人々が列をなして講演を聞きに来ていました。中には、ロックミュージックがかかっていたり、特別ゲストとしてミュージシャンが歌を披露するなど、まるでコンサート会場のような様子でした。日本では仕事や学校を休んでまで政治家の話聞くことはないのですが、アメリカ人の政治に関する興味が強いことがよくわかりました。また、体育館の外では多くの屋台が出店されており、マケイン氏のバッチやTシャツなどが売られていました。それもまた物珍しい光景でした。

10月を代表する行事、ハロウィンではパンプキン削りに挑戦しました。パンプキンの中をくり抜いて、種を出し、好きな模様を掘り出します。何種類か型があり、それを下書きにして模様を描きました。取り出した種は乾かして炒めると食べることができます。ルームメイトのお友達が作ってくれたパンプキンシードは塩がきいていて香ばしく、おつまみのようでした。



また、ダウントウンでは、ハロウィンのパレードが行われました。右下の写真がパレードの様子です。街の様々な機関や活動グループが宣伝のために参加していました。とても興味深かったのは、空手教室の子どもたちや老人ホームのお年寄りの方たちが宣伝のためにパレードに参加していたことです。アメリカではカルチャークラブなど趣味の活動が日本よりも盛んに行われているように思いました。



3 余暇活動について ～Ceader Point、トレド美術館について～



10月の休日には、学校の友達と一緒にシダーポイントという遊園地に行きました。シダーポイントは、五大湖のひとつエリー湖付近にあり、世界最大級のローラーコースターが2つもあります。それらはギネスブックに載るほどで、絶叫系のアトラクションが好きな私にはとても楽しい場所でした。冬が厳しいため、シダーポイントは5月から10月までの9ヶ月間しか営業しておらず、いい時期に行くことができました。

また今月は、フィンドレーから車で1時間ほどの所にある、トレド美術館にも行ってきました。トレド美術館は1901年に設立され、3万点以上の作品が展示されています。特に有名なのはガラスパビリオンと彫刻のギャラリーで、世界各国の作品が展示されています。日本の刀や十手なども展示されており、ゆっくり見て回ると3時間ほどかかるほど大きな美術館でした。



11月26日から **Thanksgiving** (感謝祭) があります。来月はその様子をお伝えできたらいいなと思っています。

作成者 亀井成美

2008. 12. 5

11月のフィンドレーは風がとても強く、寒い日が続きました。雪が降る日もあり、外出する時は手袋や帽子が必要なほどです。こちらでは、さらさらで粉状の雪が降ります。雪が降るようになって驚いたことは、アメリカでは雪を溶けやすくするために、専用の車が道に塩の粒を撒くことです。また福井以上の雪が降るにも関わらず、現地の人々は冬の間でもノーマルタイヤを使用するそうです。同じような気候でも、アメリカと日本では冬の過ごし方に違いがあるのでとても興味深いです。今回のレポートでは、先月に引き続き授業内容、今月の行事、クラブ活動について報告します。

1 I.E.L.P 学習内容について

先月のレポートに引き続き、授業内容の紹介をしたいと思います。TOEFL のクラスでは、コンピューター版のテスト、TOEFL iBT 勉強の仕方を習います。この TOEFL のテストには、Reading, Speaking, Listening, Writing の4つのセクションがあり、どのようにして問題を解けばよいのか、詳しく学習しています。アメリカでは、外国人が編入をする際に TOEFL の点数が重要になってくるので、特に編入を考えている生徒がこの授業をとっています。短い時間で、自分の意見が問われる Speaking や Writing の問題を解くのはとても難しかったです。

次に、American Culture and Conversation という授業について紹介します。この授業では、隔週でネイティブアメリカンの生徒とグループになり、様々なトピックについて話し合います。普段の学校生活で、なかなかアメリカ人の生徒と話す機会はないので、顔見知りになるととてもいい機会です。

また、今月は授業中にとってもおもしろいことがありました。私のクラスを担当している Reading の先生と

Composition の先生が結婚することになり、旦那さんになる先生が生徒に協力を求め、サプライズで授業中に

パーティーを開きました。生徒たちは大盛り上がりで、

その時間の授業がなくなってしまうほどでした。日本ではこのような公の場で結婚を報告することはめったにないと思うので、アメリカ人の愛情表現の方法にとっても驚きました。写真はその時の様子です。



2 クラブ活動 ～Japanese Culture Club について～

フィンドレー大学には、日本人教授や日本語専攻の生徒が中心となって組織される、Japanese Culture Club というクラブがあります。月に1度のペースで活動しており、日本の映画を観たり、アイスクリームパーティーをしたりしています。11月は、留学報告会がありました。日本に留学していたアメリカ人学生や、今年フィンドレーに来た日本人学生がプレゼンテーションを行いました。

た。今年8月まで福井大学に交換留学していたローラ・マウアーさんや、福井大学からの交換留学生、藤井佑未さんやその他の学生が発表をしていました。日本語を専攻している学生との交流は、お互いにとっても勉強になります。ローラさんは、福井での思い出をたくさん話しており、時折思い出して涙ぐんでいました。福井で素晴らしい体験をしたローラさんのように、私もここフインドレーでたくさんの経験を積んで帰ってきたいと思いました。発表の後には、剣道クラブのパフォーマンスがありました。



3 余暇活動 ～Thanksgiving Dayについて～

11月の第4木曜日は **Thanksgiving** でした。この日は「感謝祭」と呼ばれる祝日で、もともとは収穫を祝って神に感謝する日だそうです。今となっては、1年のうちで最も大切な家族行事の日となっており、学校は4日間休みで、ほとんど全てのアメリカ人は実家に帰って家族と過ごしていました。私と福井大学からの交換留学生、藤井さんとで、先ほど紹介したローラ・マウアーさんのお家に3日間滞在しました。27日は夕方頃から家族が勢ぞろいし、**Thanksgiving** の夕食を堪能しました。代表的な料理は七面鳥を丸焼きにしたものや、マッシュ・ポテトです。デザートもたくさん出てきました。ローラさん曰く、この日は家族と食事をして、いろいろな話をしてのんびり過ごす日だそうです。食事の後、私たちは **DVD** を観ました。また、次の日の金曜日は「ブラック・フライデー」と呼ばれる日で、全ての店が年に一度の大安売りを行います。いい商品を買うために、朝3時頃から店の前で行列ができるそうです。ニューヨークのスーパーでは大勢の人が一斉に店に駆け込んだため、将棋倒しとなって亡くなった方もいたそうです。私の印象として、**Thanksgiving** は日本でいうお正月にとっても似ていると思いました。



Thanksgiving 後は、クリスマスツリーの飾り付けをしました。ローラさんの家では、この飾り付けが **Thanksgiving** の恒例行事となっているそうです。昔は本物のモミの木を使っていたそうですが、今は人口の木を使っているそうです。家族と話しながら、ツリーを飾りつけする様子にとっても温かみを感じました。また、家の中にはローラさんとお兄さんの幼少の頃からの写真がたくさん飾ってあり、アメリカの家族愛の強さを知ることができました。



来月は、月の半分が冬休みとなります。余暇活動を中心に報告していきたいと思います。

作成者 亀井成美

2009. 1. 11

12月のフィンドレーは一段と寒さが厳しくなってきました。雪の量は、12月の時点ではほぼ福井と同じくらいです。学校は12月12日から冬休みになりました。アメリカ人の生徒は、ほとんどが実家で冬休みを過ごすようです。寮に住んでいる日本人の友達も、ハウスメイトが全員帰ってしまったので、1人で寮に住んでいるようなものだと話していました。今月は行事と余暇活動を中心にお伝えします。

1 町の様子

Thanksgiving 後のフィンドレーの町は、クリスマスのイルミネーションで町がにぎやかになりました。日本ではイルミネーションをする家はまだ余りありませんが、アメリカでは5軒に1軒の割合の家がライトアップしています。私の隣の家では、小さなメリーゴーランドまで飾られており、驚きました。



2 今月の行事 ～学位授与式について～

12月13日に学位授与式が行われました。埼玉県の奨学生で、私のルームメイトでもある永澤明子さんが TESOL の課程を終了されたため、式に出席してきました。式では、卒業生がキャップアンドガウンと呼ばれる服に着替え、出席していました。フィンドレー大学のメインカラーはオレンジと黒なので、キャップアンドガウンもその色でデザインされていました。式では、卒業生1人1人の名前が呼ばれ、舞台上で学位を受け取ります。また、その時に卒業生たちはキャップについている飾りを右から左に移動させます。これが、学位を終了したという印だそうです。その後卒業生は外に移動し、大学のシンボルである、Old Main という建物のアーチをくぐります。卒業生の中には、よく映画などで見るようにキャップを空に投げている人たちもおり、とても感動的でした。



3 余暇活動 ～カンバセーションパートナー、クリスマスパーティーについて～

大学のプログラムの1つにカンバセーションパートナー制度があります。日本人教授が私たちに合うパートナーを見つけて下さり、学校以外の場所でお話したり、出かけたりします。パートナーは、地域に住む方々で、私のパートナーは小学校で教師をされているデヴさんです。旦那さんと共に、色々な所に連れていってくれます。11月は、映画館で「トゥワイルト」という映画を観ました。小説から映画化された作品で、とても人気がある映画でした。映画館では、多くの人が大きなポップコーンとジュースを片手に映画を観ます。アメリカ人は日本人のように映画を静かに観るのではなく、たまに大声で笑ったり、驚いた声をあげたりしていました。

12月は、フィンドレーから車で30分ほど走った所にある街までイルミネーションを見に行きました。そこには約2万個のライトが飾り付けられており、車に乗りながらイルミネーションを楽しむことができます。ドライブスルーのようにしてイルミネーションを楽しむことができるのは、さすがアメリカだなと思いました。3枚目の写真は、その日の夕食時に行った、ケンタッキーフライドチキンの店で撮ったものです。この店は、ビュッフェ形式になっており、チキン以外にも自分の好きなものを好きなだけ食べることができます。日本にはこのようなケンタッキーの店はないので、とても物珍しかったです。



また12月17日には、フィンドレーに住む日本人のためのイベントとして、教会でクリスマスパーティーが開かれました。クリスマスソングを一緒に歌ったり、神父さんが色々なお話を聞かせてくれたりしました。神父さんは何年か日本に住んでいた経験があり、日本語でもキリスト教についての話をして下さいました。途中、子供たちによる歌の発表もあり、教会での典型的なクリスマスパーティーを体験できたように思います。



作成者 亀井成美

2009. 3. 15

1月5日より春学期が始まりました。今学期、私はI.E.L.P（集中英語コース）のレベル5のクラスに進みました。このレベルは大学院進学希望の外国人が、必要な英語力を身につけるためのレベルです。クラスは2つの分野、教育・MBA（経営）に分かれており、私は教育のセクションに在籍しています。私は、大学院には進みませんが、将来英語の教員を目指しているため、教育に関することを学べるこのクラスを選びました。

1 天候について

1月のフィンドレーは寒さが厳しく、一時は気温がマイナス30度まで下がったこともありました。外に出ると、耳や手がかじかんでしまいます。また、鼻の中が凍ってしまい、シャリシャリと音がするくらいでした。地元の小中学校や中学校は休校になることもありましたが、フィンドレー大学は学長の意向で、休校になることはありませんでした。下の写真は家の近くの写真です。アメリカは水で雪を溶かすことはなく、毎日除雪機が道をきれいにしていました。日が沈むのが早く、寒いのでみんな家でゆっくり過ごすようです。今月は大学でもあまりイベントはありませんでした。



2 コミュニケーション・テーブルについて

月曜日から木曜日まで、アメリカ人の学生と話す時間が設けられています。これは授業ではなく、自由に参加できるものです。毎週決まった3人の学生が来て、英語を学習している生徒といろいろな話をしてくれます。最近は課題が多く、忙しい日が続いていますが、それでも毎週1回は参加するようにしています。そこでは、ネイティブの生徒と話すのはもちろんのこと、自分のクラス以外の生徒とも会えるので、友達を作るいい機会でもあります。毎月いろいろな話をしますが、アメリカだ

けでなく、その他の国の文化も学べるので、とても面白いです。右の写真は、水曜日と木曜日を担当しているエイミーと撮った写真です。



3 バイブルスタディについて

毎週金曜日の夜に、ジョーさんとアリソンさんという夫妻が、生徒たちをお家に招待してくれます。私は、4、5回ほどお邪魔したことがあります。そこでは聖書を読む勉強をします。2人はキリスト教を信仰しており、聖書を読みながらキリストの教えを私たちに教えてくれます。私はキリスト教徒ではありませんが、宗教に関係なくいろいろな国々の生徒を呼んでくれます。聖書は、何十もの章に分かおり、その章は1章、2章と表すのではなく、人の名前がつけられているので、読む場所を探すだけでも一苦労です。ジョーは若いときに危ない道に走りそうになったと言います。その時の彼を救ったのは、キリストの教えだったそうです。日本ではこのように聖書を読んだり、先人の教えについて学ぶ機会は日頃ないので、アメリカ人の宗教に対する熱意に感心させられます。毎回、聖書を読んだ後、ご飯を食べます。そこでも、いろんな国のお友達ができるので、とても楽しいです。



4 BINGO 大会について



1月24日に、ジョーとアリソンが教会でのビンゴ大会に招待してくれました。この日は日頃から集会に参加しているお年寄りの方たちがいろんな物を持ち寄り、ビンゴゲームをしました。また、教会の中を見せてもらったり、手作りの料理をごちそうになったりしました。ビンゴはアメリカではとても人気のあるゲームだそうです。たくさんの景品をもらって帰りました。

5 日本語プログラムについて

今月の日本語プログラムでは、成人式と新年会を行いました。今年20歳になる生徒を激励し、その後書初めをしました。私が書道を教えた生徒は2年生で、とても上手に日本語を書いていたので、驚きました。でも、「はね」や「はらい」などの書道独特の言葉を伝えるのがとても難しく、苦労しました。最後はお正月に因み、みんなできなこ餅を食べました。アメリカ人



の学生はとてもおいしそうにお餅を食べていました。また、日本人の学生は懐かしい日本の味にとっても感激していました。

作成者 亀井成美

2009. 3. 29

今月は大学全体が、Diversity（人種や民族の多様性）について知ろうという月間でした。Black Students Union（黒人の生徒たちによるコミュニティ）が主体となり、様々なイベントが行われました。フィンドレー大学にはあまり黒人の生徒は多くいませんが、とても積極的にいろいろな活動に取り組んでいます。私もたまにミーティングに参加しています。その他にもいくつか行事があったので、紹介したいと思います。

1 Black Tie パーティーについて

バレンタインデーの日に、学校内でダンスパーティーがありました。このパーティーはアメリカの高校でいう「プロム」のようなもので、みんなが着飾ってダンスをしました。また、クィーンやキングなども選ばれ、ちょっとしたパフォーマンスもありました。アメリカ人はみんなとてもダンスが上手で、とても驚きました。また、この日はチョコレートファウンテンも用意されていました。日本では、バレンタインデーというと、女の子だけが関心をひく響きがありますが、アメリカでは友達同士で楽しめる日なので、このようなパーティーを通して友達みんなと楽しむことができました。写真は、今年のクィーンに選ばれた子と撮った写真です。



2 アフリカン・アメリカンカルチャーについて

ダンスパーティーの他に、アフリカン・アメリカンの文化について知る機会がありました。歴史や、有名な人物など、様々な展示物を見ることができました。また、伝統的な食べ物の試食もしました。日本食のおひたしに似た料理があり、とても親しみを感じました。アフリカン・アメリカンについて深く知る機会が今までなかったので、とても勉強になりました。その後何人かの生徒が話しをしてくれましたが、肌の色が少し違うだけで、アフリカン・アメリカンというレッテルを貼られてしまうと言っていました。



アメリカ人は祖先に様々なルーツを持っている人が多いので、人種や民族の違いにも敏感なんだろうと思いました。アメリカでは、日本にいるときに接することができなかった外国人の方とたくさん会えるので、少しでも他の文化を理解して帰りたいと思います。

3 スーパーボールについて



2月1日にアメリカンフットボールのチャンピオンシップがありました。アメリカはフットボールがとても人気です。今年の決勝では、ピッツバーグとアリゾナが戦い、ピッツバーグが優勝しました。ピッツバーグには、フィンドレー出身の選手がおり、街全体がピッツバーグを応援していました。学校内には、大きなスクリーンが設置され、みんなで応援しました。とても盛り上がりました。

4 寿司パーティー ～カンバセーションパートナーと～

12月のレポートでも紹介しましたように、日本人の学生1人ずつにカンバセーションパートナーが割り当てられます。今月は、私のパートナーとルームメイトのパートナーを招待し、寿司パーティーをしました。日本食は今アメリカでとても大人気で、目の前で作る海苔巻きにみんな興奮していました。味噌汁や肉じゃがも作ったところ、とても好評でした。友達のパートナーは海苔巻きに挑戦してくれましたが、力の入れ具合が難しかったようです。



5 バースデーパーティー

1月のレポートで紹介した、エイミーの誕生日が2月19日でした。そこで、カンバセーションテーブルの時間にみんなで小さな誕生日会を開きました。ケーキを買いに行ったとき日本にはないような色のケーキばかり置いてあるので、本当にいつもびっくりさせられます。今回は水色のケーキにあひるのおもちやがのったケーキを買いました。エイミーがとても喜んでいたのでよかったです。



作成者 亀井成美

2009. 5. 19

3月は月初めに8日間ほどの春休みがあり、休みを利用してニューヨークとワシントンに行ってきました。ワシントンでは、ホワイトハウスを見ることができ、感激しました。今月はあまり行事がなく、4月にたくさん行事やクラスアクティビティがあったので、今月と来月にわけて紹介していきたいと思います。

1 コミュニケーションクラスについて

コミュニケーションクラスでは、どのように人前でスピーチをするかを学んでいます。これまでは、スピーチのための準備の仕方、情報集めやアウトラインの作り方を学んできました。そして、クラスアクティビティとして、3月17日にフィンドレーから30分ほど離れたところにある、ウェストン小学校に行き、4年生のクラスで発表をしてきました。自分たちの国について知ってもらおうということで、私は忍者をテーマに選びました。スピーチでは、忍者についての情報を伝えるだけではなく、一緒に折り紙で手裏剣を作りました。途中まで手裏剣のパーツを作っていたのですが、アメリカ人の子供たちにはとても難しかったようです。また、折り方の説明をするのもとても難しかったです。みんな、興味深くスピーチを聞いてくれ、他国の文化に興味があることがわかりました。このスピーチのことが、地元の新聞紙に掲載されました。アメリカの新聞に名前が載るなんてめったにない機会なので、とてもよい思い出となりました。



またスピーチの後は、校庭に出てみんなで鬼ごっこをして遊びました。子供たちの遊ぶ様子は日本の小学生と同じで、なわとびをしたり、ボールで遊んだりしていました。さらに、お昼は生徒たちと一緒に給食を頂きました。給食は量がとても少なく、学年によって食べる時間が異なっており、早く食べないといけないのでとても大変でした。



2 バスケットボールチャンピオンシップについて

3月28日にフィンドレーの男子バスケットボール部が、全国大会にて優勝しました。アメリカの大学は、クラブの成績に応じてレベルが Division I から III まで分かれています。フィンドレー大学は Division II に属しており、あらゆるスポーツクラブが同じレベルの他大学と試合をします。男子バスケットボール部は、今シーズン36勝0敗というすばらしい成績で、ナショナルチャンピオンとなりました。決勝戦はマサチューセッツで行われ、対戦相手はカリフォルニア大学でした。当日体育館には、大きなスクリーンが用意され、学生

だけでなく街全体がサポーターとなって応援しました。ピザとジュースが無料で配られ、みんなとても楽しそうに応援していました。ラスト2秒というところでシュートが入り、優勝したときには、天井からフィンドレーカラーである、オレンジと黒の風船が落ちてきて、みんな絶叫していました。

次の日、選手たちがフィンドレーに凱旋したときもすごい盛り上がりだったようです。また後日、優勝を記念してTシャツが作られました。私も発売日に買いに行きましたが、すごいTシャツを求めて人だかりができていました。



2 日本語クラスについて

カンパセーションパートナーの紹介で知り合った中学校の先生から依頼があり、中学校で1日だけ日本語を教えてきました。この日はアクティビティデーと言って、生徒たちが好きな授業を選んで受けれる日でした。日本語のクラス以外にも、ビーズや写真などアート系のクラスやダンスなどのクラスがありました。私はゲストティチャーとして招かれ、簡単な日本語を教えました。日常の挨拶と自己紹介を教えた後、おじぎの練習もしました。何人かの生徒はおじぎをする時に手を合わせていました。日本人は挨拶する時に手を合わせると思っていたようです。授業の最後には、ジャンケンをして、勝ち残った生徒に5円玉で作ったキーホルダーをあげました。穴の開いたコインはとても珍しいようで、生徒たちはとても喜んでいました。



3 シンポジウムについて

4月7日に学内でシンポジウムが開かれました。これは、学生たちが調べたことを発表する場で、みんなポスターまたはパワーポイントを使ってプレゼンテーションをします。優秀な発表者には賞金が出されます。私たちのクラスではコミュニケーションの授業で、ポスタープレゼンテーションに挑戦しました。私のテーマは「日本の中学校」についてで、アメリカの中学校との比較をしました。私たちは基本的に定位置に立っており、ポスターを見に来てくれた方に説明をします。初めは少し緊張しましたが、質問をされる度にうまく答えられるようになったので、とても勉強になりました。



学校での1コマ

大学内で何人かの学生がおもしろいことをしていたので、紹介します。1ドル支払えば、パイ投げをさせてくれるというものです。集まったお金は何に使われるかわかりませんが、とても珍しかったので、私も挑戦してみました。



作成者 亀井成美

2009. 5. 24

春学期最後の4月はとても忙しく過ぎていきました。留学生にとって一番大きなイベント、インターナショナルナイトを始め、いろいろな行事がありました。その後すぐに定期テストを受け、また留学生活の締めくくりとして、1年だけの奨学生が学長の前でスピーチをしました。アメリカに来た当初に比べ、みんなとても英語が上達していたため、先生方がほめてくださいました。

1 ファッションショーについて

4月の3週目はインターナショナルウィークでした。インターナショナルウィークの第1日目は、BSU（黒人の生徒たちによるコミュニティ）が主催する、ファッションショーが開催されました。このショーには、アメリカ、日本、韓国、サウジアラビア、インドの生徒が参加し、各国の衣装を音楽に合わせて紹介しました。日本人は、浴衣と忍者の衣装を、韓国人はテコンドーの胴着、サウジアラビア人はトーブという白い衣装を、インド人はサリを身につけました。



このようなイベントでは必ずTシャツが無料で配られるので、いつもとても楽しみにしています。フィンドレーに来てから、もらったフリーTシャツは6枚になりました。

2 インターナショナルナイトについて

インターナショナルウィークの最終日、金曜日にはインターナショナルナイトが開かれました。朝は展示ブースで各国の紹介がされます。この時間帯は、地元の小学生や地域の方が見に来ます。日本のブースでは、見に来てくださった方々に新聞紙でかぶとを作ってプレゼントしたり、カタカナで名前を書いてあげ、それにいも版を押して渡しました。この時間帯、私たちは浴衣を着てお世話しました。また夕方には、各国の伝統的な料理を紹介します。日本は今年、焼きそばとちらし寿司を振る舞いました。



夕方から夜にかけては、ショーが開催されます。日本人の発表は、ソーラン節と盆踊りでした。踊りの練習は2ヶ月ほど前から集まって練習しました。盆踊りでは、観客の皆さんも踊りに参加してくれ、とても盛り上がりました。その他の国々の生徒も、伝統的な踊りや歌などを披露してくれました。中でも、台湾の獅子舞や韓国のコンドーは迫力があっておもしろかったです。



2 エアフォース1ミュージアムについて

インターナショナルナイトの次の日、BSUのみんなと一緒にデイトンにあるエアフォースミュージアムに行ってきました。BSUでは毎年どこかに旅行に行くらしく、今年は投票の結果、博物館に決まりました。デイトンはフィンドレーから2時間ほどかかる場所にあり、飛行機を発明したライト兄弟の出生地でもあります。この街には、この兄弟の名前をとったライト大学という大学もあります。博物館には、飛行機の歴史を始め、戦闘機や戦闘服などたくさん展示品がありました。日本の博物館とは違い、広大な土地に建てられたアメリカの博物館は歩くだけでも疲れてしまいました。また、巨大な飛行機が何機もあるので、そのスケールの大きさに大変驚きました。



3 カジノナイト

4月の行事として、カジノナイトというイベントもありました。これは、学内の1つのホールがカジノ会場となり、この日だけルーレットやブラックジャックを楽しむことができます。お金を賭けることはできませんが、その代わりにコインをたくさん集めた人に商品が当たります。私も少しだけ挑戦してみました。学内でカジノが体験できるとは思っていませんでした。アメリカらしいイベントだと思いました。

